

金沢の観光がめざす姿

1. 「ほんもの」を継承し、世界をひきつけるまち
2. 訪れるたび感動があり、長くいるほど奥行きが感じられるまち
3. 住む人と訪れる人が価値を共に高めていくまち
4. 広域観光の拠点として、周辺地域を牽引するまち
5. 新しい観光マネジメントをリードするまち

戦略テーマ

住む人と訪れる人が共感を深め、
「ほんもの」を未来へと紡いでいくまち

金沢を訪れてほしいターゲット像

観光客の傾向

- ・ ローカルな体験を重視
- ・ サステナブルな旅への意識の高まり
(旧：・団体旅行から個人旅行へ変化
・「モノ消費」から「コト消費」、
「イミ消費」を重視するように)
- ・ 外国人旅行者の旅行先としての「日本」への注目

金沢の持つ要素

- ・ 飾らない「ほんもの」の日本を体感できる
- ・ 伝統を守りつつ、新しいものを生み出すクリエイティブなまちである
- ・ 市民の暮らしに根付く「金沢の日常」を大事にする



- 金沢が培ってきた「ほんもの」の日本に興味を持つ、知的好奇心旺盛な旅行者
- 自身の意識や行動に責任を持ち、金沢のまちの歴史や文化のあり方に共感する旅行者

基本戦略

基本戦略1 住む人と訪れる人がまちの価値を共有し、共に高めていく機会の充実

- 1-1 金沢ならではの魅力の追求と再構築
- 1-2 訪れる人の責任ある観光の推進
- 1-3 市民の観光受容力ともてなし力の向上
※観光行動規範「金沢観光たしなみ帖」の普及啓発

基本戦略2 歴史と伝統に裏打ちされた、ほんものの魅力の創造・発信による文化観光の推進

- 2-1 金沢の豊かな文化や食を生かした付加価値の高いコンテンツの充実
- 2-2 自然や環境を大切にしたい観光の推進
- 2-3 長期滞在を促進するコンテンツの充実
- 2-4 テーマ性を重視した広域観光の推進
- 2-5 魅力あるコンテンツを提供できる事業者の育成

基本戦略3 訪れる人の満足度を高める受入環境の充実と交流の促進

- 3-1 市内の回遊性向上による誰でもまち歩きを楽しめる環境づくり
- 3-2 市内や広域における交通円滑化の推進
- 3-3 誰もが快適に滞在できる環境の充実
- 3-4 観光地や時期の分散化の推進
- 3-5 高付加価値旅行者層の受入環境整備
- 3-6 夜間の観光消費を高める環境の充実
- 3-7 金沢の規模に見合ったMICE・修学旅行の誘致と受入環境の充実
- 3-8 危機対応力の向上による安全・安心に滞在できる環境の充実

基本戦略4 国内外からの誘客推進

- 4-1 的確な現状分析と戦略的マーケティングの推進
- 4-2 金沢の文化と親和性の高いターゲットに向けたプロモーションの強化
- 4-3 効果的な情報発信ツールの拡充・整備
- 4-4 リピーター・ファンの獲得

基本戦略5 地域で活躍する観光人材の育成

- 5-1 観光に理解を深める学習機会の提供
- 5-2 高等教育機関等との連携強化
- 5-3 観光産業における人材不足対策の促進
- 5-4 金沢の歴史・文化的ストーリーを伝えられるガイドの育成・充実

各主体の役割

市民

- ・ 金沢のまちが藩政期から培ってきた個性を守り磨き上げるとともに、楽しみながら他者へ伝える。
- ・ 観光まちづくりに参画し、市民の視点から行政や金沢DMOの取組や観光事業者の体験コンテンツを評価し、魅力を発信する。

観光事業者

- ・ 質の高い観光コンテンツを造成し、市民や旅行者に提供する。
- ・ 地域に根ざした観光コンテンツの造成による地場産業の活性化や市民の観光まちづくりへの参画を促す。
- ・ 旅行者と交流する時間の質の向上等により、金沢滞在の満足度向上に努める。

旅行者

- ・ 金沢の歴史や文化を体験し、金沢の人々との交流を楽しむ。
- ・ 地域との調和、環境への配慮をし、金沢のマナーを理解し、マナーを守って行動する。

教育機関

- ・ 地域の観光課題を研究し、地域の観光の発展に寄与する。
- ・ 地域が求める観光人材を育成する。
- ・ 学生等が金沢の歴史や文化を学び、市や地域の観光団体の活動に積極的に参加できる環境を整える。

金沢DMO

- ・ 市民と旅行者の満足度が高まる観光まちづくりのマネジメントを行う。
- ・ 観光事業者やガイド向けに研修を実施し、金沢の個性・魅力を発信できる人材の育成を推進する。
- ・ データに基づいたマーケティングや顧客管理、ターゲットに向けた戦略的なプロモーションを推進する。

行政

- ・ 市民も旅行者も快適に過ごせるまちづくりを行う。
- ・ MICE等の誘致、開催を支援する。
- ・ 広域連携体制の強化や金沢DMOと協働でプロモーションを推進し、誘客推進に努める。
- ・ 観光施策の効果検証を行い、市民や観光事業者等に広く発信し共有する。